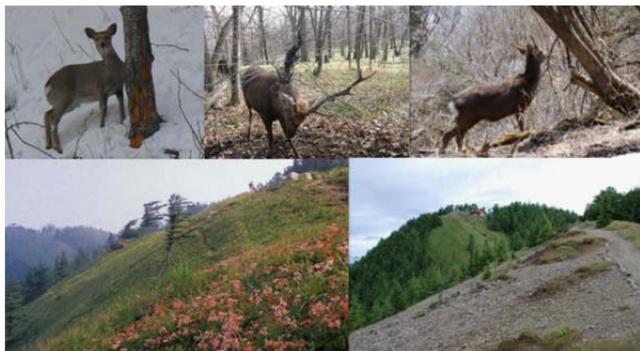


第2回山岳自然環境セミナー開催要項



主 催 山岳団体自然環境連絡会

(連絡会メンバー団体)
公社) 日本山岳・スポーツライミング協会
日本勤労者山岳連盟
公社) 日本山岳会
NPO 法人) 日本ヒマラヤン・アドベンチャー・トラスト
公社) 東京都山岳連盟
公社) 日本山岳ガイド協会
山はみんなの宝クラブ

近年、日本列島の各地でニホンジカ（以下「シカ」と表記）の個体数が急激に増加し、その生息域が高山・亜高山帯にまで拡大し、山岳地の生態系に深刻な影響を与えています。シカの被害として、森林の衰退、希少植物の消失、土壌の浸食などが発生し、わが国の豊かな生物多様性を守る上で、一刻も放置できない問題となっています。登山者も、山岳地域でその状況をつぶさに見ており、山を愛する者として何らかの行動をすべきと考えております。

本セミナーは、ヨーロッパにおける狩猟管理、我が国の狩猟者育成の取り組みなどを紹介し、山岳地におけるシカ問題の緊急性を強く訴えるとともに、被害対策の促進をはかることを目的として、昨年引き続き、2回目を開催するものです。

これからの自然保護、野生動物との共生を考える良い機会であり、多くの方々のご参加を期待します。

記

- ◆ **メインテーマ** 続・「山の自然が崩壊する、深刻化するニホンジカの被害」
- ◆ **日 時** 2018年3月11日（日）10：30～16：35（受付開始10：00）
- ◆ **場 所** 国立オリンピック記念青少年総合センター・センター棟501号室
（〒151-0052 東京都渋谷区代々木神園町3-1）
- ◆ **内 容**
 - ◎ 基調講演：「ヨーロッパ狩猟の過去と現在」—狩猟権から動物の尊厳まで— 10:35～
駒澤大学名誉教授 野島 利彰
 - ◎ パネルディスカッション：「山岳地のシカ対策を促進するための課題」 13:30～
 - (1) パネリストからの報告
 - ① シカの生態と目撃情報の収集について 13:30～
(国研) 森林研究・整備機構 森林総合研究所 野生動物研究領域長 岡 輝樹
 - ② 霧降高原のシカ対策、現場からの報告
(一財) 自然公園財団日光支部主任 瀬戸 静恵
 - ③ 狩猟者育成の取り組み
(一社) 大日本猟友会専務理事 浅野 能昭
 - (2) 討議&質疑応答 15:15～
【パネラー】上記の各スピーカ
(モデレーター) 山岳団体自然環境連絡会 花村 哲也
- ◆ **参加費** 500円（学生無料）
- ◆ **定 員** 150人
- ◆ **申し込み**

山岳団体会員は、所属団体にお申込みください。

一般参加者は、下記にお申し込みください。

山岳団体自然環境連絡会事務局

幹事団体：(公社)日本山岳・スポーツライミング協会 担当 松隈

Email: matsukuma@jma-sangaku.or.jp FAX: 03-3481-2395

※時間割は予定を示します。確定次第のホームページなどにてお知らせします。

<http://www.jma-sangaku.or.jp/conservation/yaseichoju/static/shikaseminar.html>